

## Ⅱ.〔土留蓋〕

制定：平成17年9月1日

### 1. 適用範囲

この仕様書は、宇都宮市上下水道局が使用する消火栓及び空気弁鉄篋用レジンコンクリート製土留篋（以下、「土留篋」という。）について規定する。

### 2. 定義

この仕様書で用いる主な用語と定義は、次による。

- a) 土留篋：地下式消火栓及びバルブ類等の室築造に用いる部材のうち上部鉄蓋を除く側壁，底板の総称。
- b) 接合材：土留篋を組み立て際，接合部のがたつきや点接触を防止して，土留篋の強度及び耐久性を保持するために，土留篋同士の接合面に断絶がないように盛り付ける材料。エポキシ樹脂系やウレタン樹脂系のものがある。

### 3. 種類

鉄蓋はT-25 荷重仕様とし，その種類は表1のとおりとする。

表1 鉄蓋の種類

種類	φ500消火栓・空気弁鉄蓋(単口用)用
	φ600消火栓・空気弁鉄蓋(双口用)用

### 4. 構造, 形状及び寸法

土留篋の

- ・ 性能
- ・ 基本的な形状及び寸法
- ・ 外観
- ・ 材料
- ・ 試験方法
- ・ 表示

については，(社)日本水道協会規格 JWWAK148 (水道用レジンコンクリート製ボックス)に準拠し，それ以外の特記項目は下記の通りとする。

- a) 土留篋は，内周面へのガラス繊維補強や，内部への鉄筋を配した補強により，部材強度の向上と破損時の部材の散在を防止した構造であること。
- b) 土留篋の上部壁フランジには，鉄蓋と受枠をボルトに緊結できるようインサートナットを埋め込んだ構造であること。インサートナットは，JISB0205 に規定する M16 を標準とする。

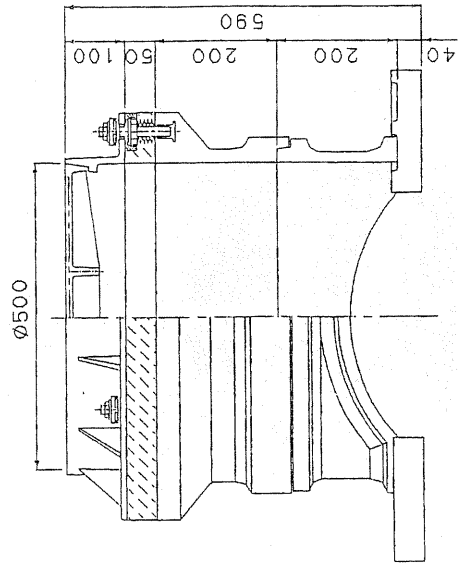
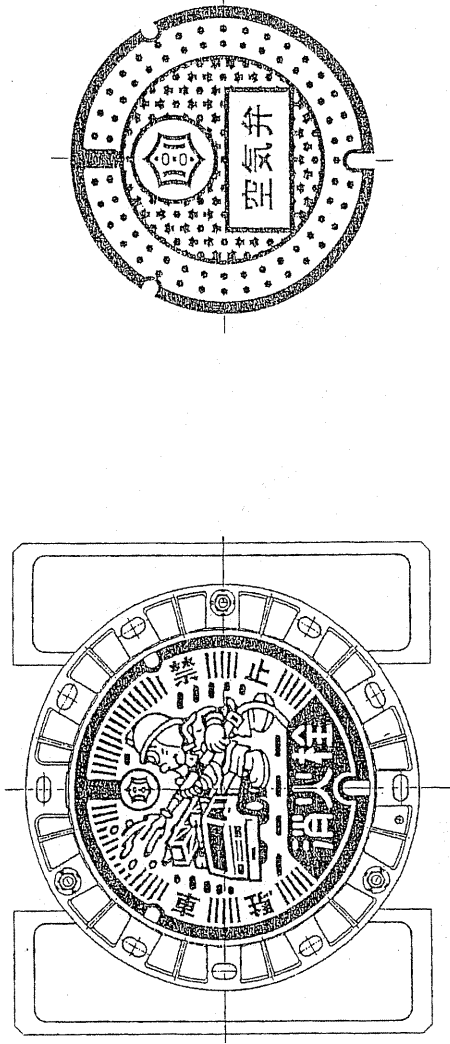
- c) 土留筐の組み立ては、土留筐の強度及び耐久性を保持するため、土留筐同の接合面に断絶が内容に接合材を用いて行うこと。

## 5. 一般事項

本仕様書の発効は 平成17年9月1日とする。

## 6. 疑義

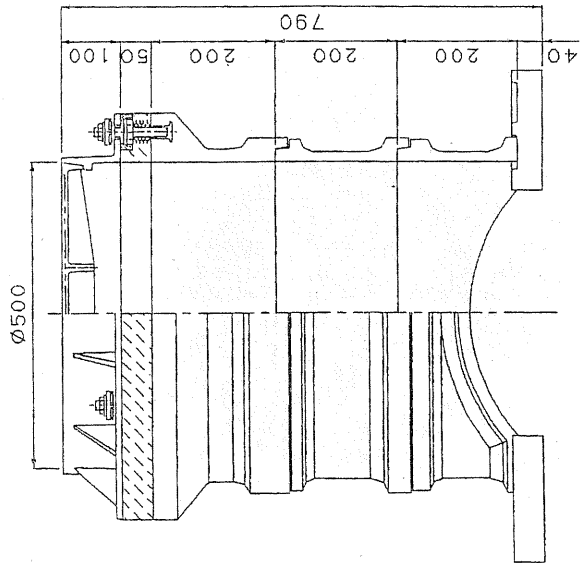
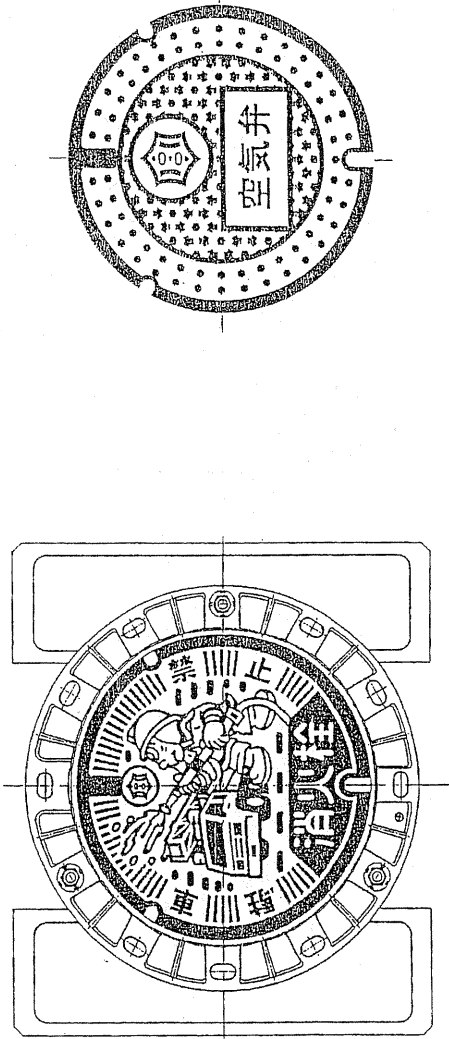
以上の事項に該当しない疑義については、協議の上決定するものとする。



- 鉄蓋
- 無取締モルタル
- 下柵 上部
- 下柵 下部
- 二分割底板

参考図 1

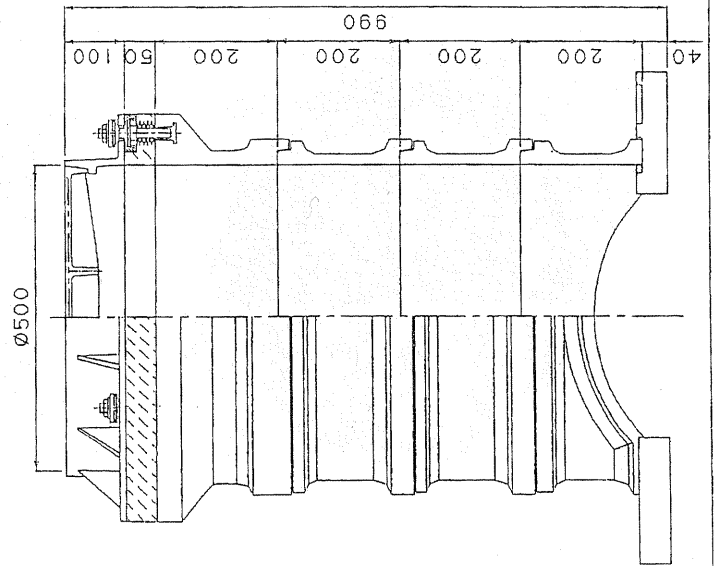
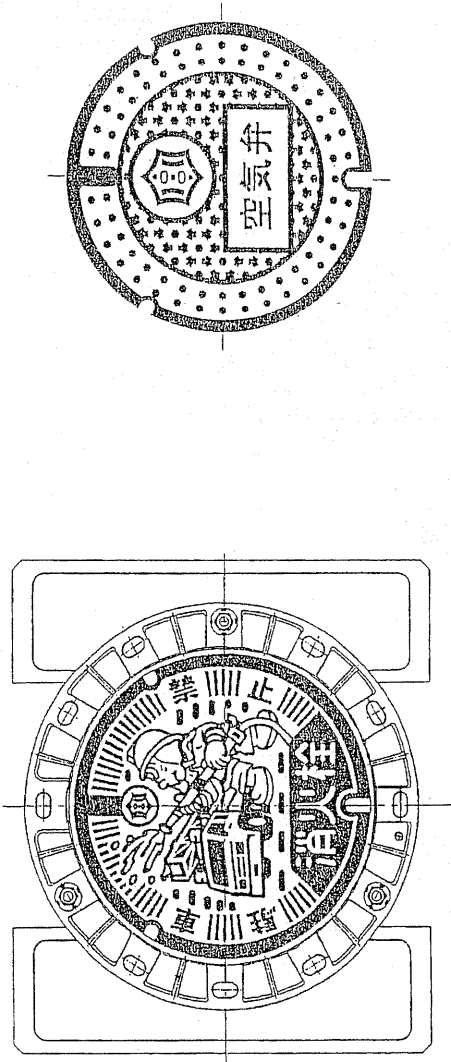
品名	鉄蓋	材質	鋼鉄	規格	標準
設計	図	番	尺	度	年月日
型式					
品名	宇都宮市上下水道局				



- 鉄蓋
- 無収縮モルタル
- 下柵上部
- 下柵中部
- 下柵下部
- 二分割底板

参考図2

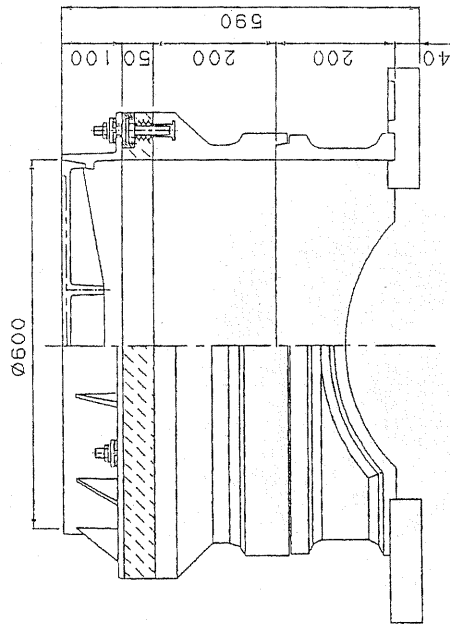
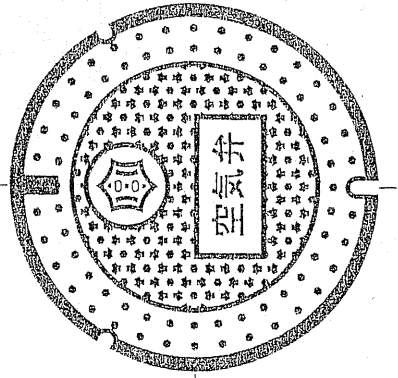
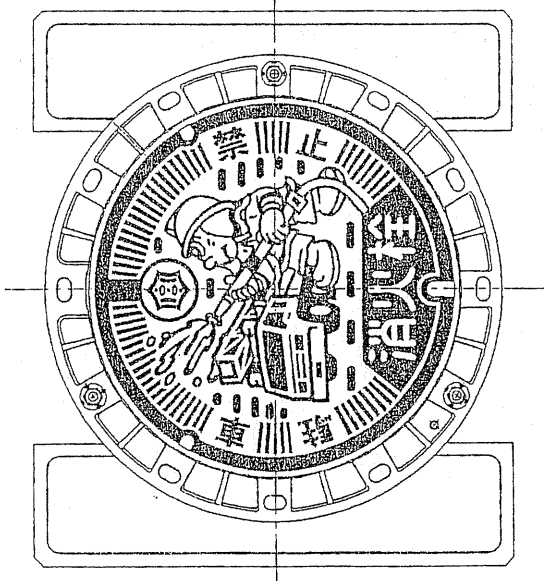
品番	名称	材質	個数	備考
図番	番	尺	度	年月日
型式				
品名	宇都宮市上下水道局 (H=790)			



- 鉄蓋
- 無収縮モルタル
- 下桷上部
- 下桷中部
- 下桷中部
- 下桷下部
- 二分割底板

参考図3

品名	仕様	材質	個数	備考
設計	図番	尺度	年月日	
型式				
品名	宇都宮市上下水道局			
	宇都宮市型500口径・鉄製空気弁設置(巾=990)			

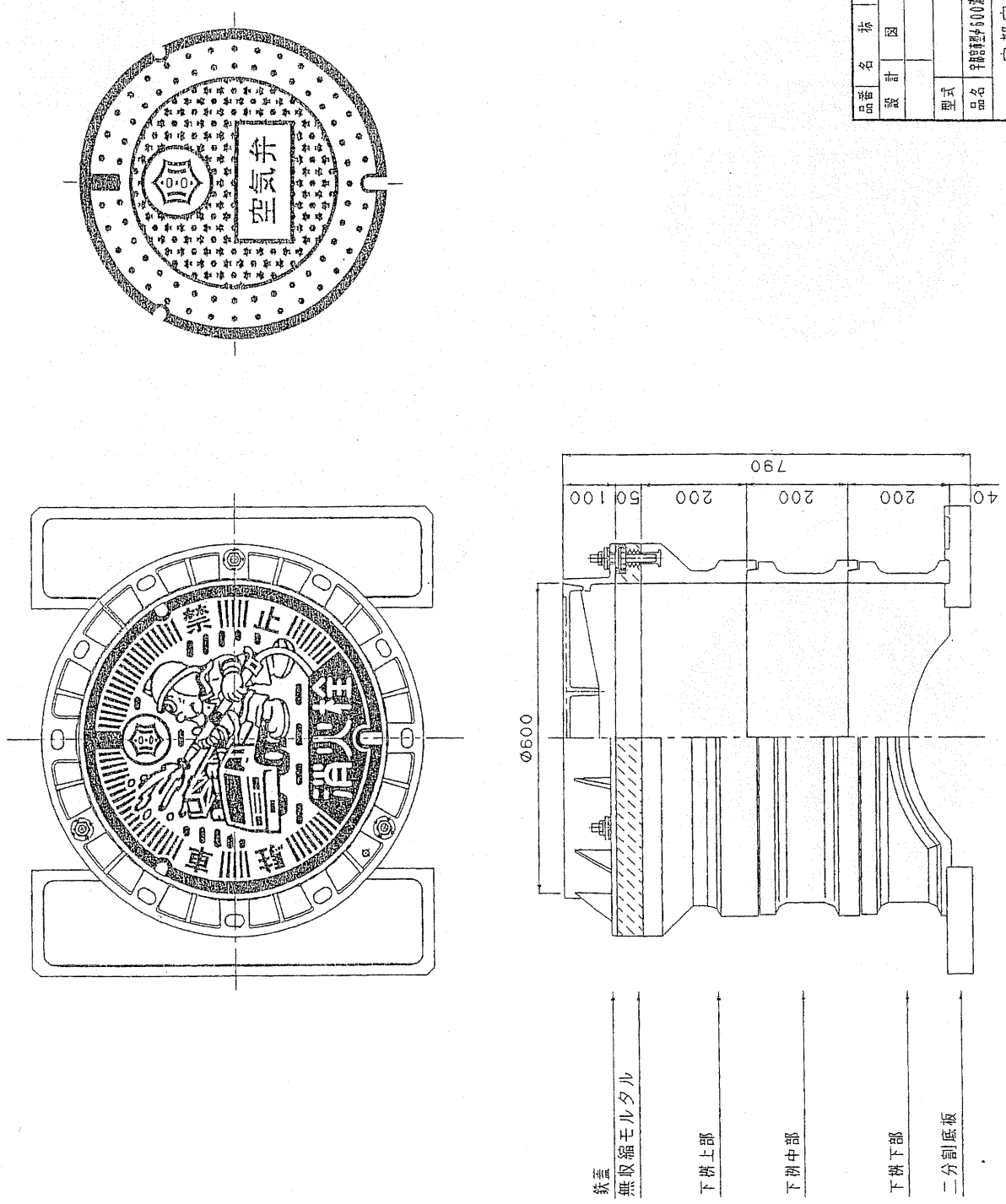


- 鉄蓋
- 無収縮モルタル
- 下柵上部
- 下柵下部
- 二分割底板

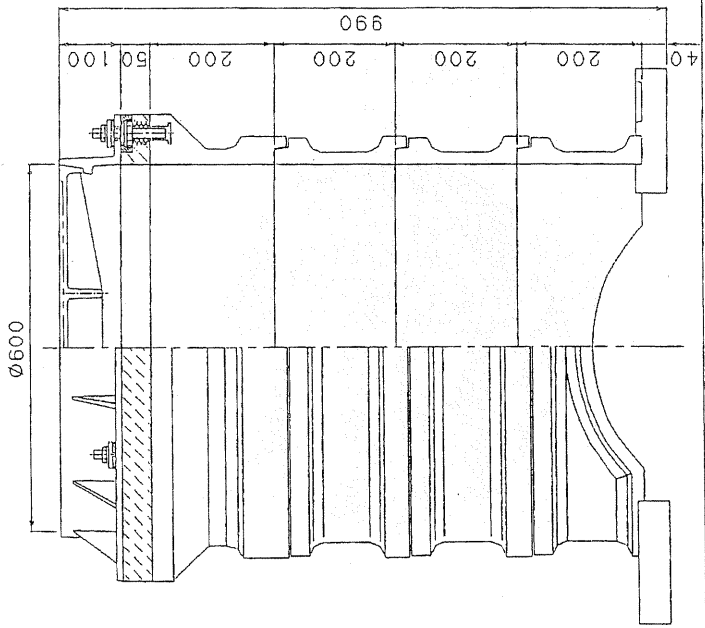
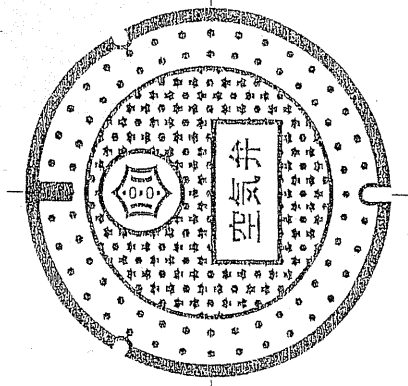
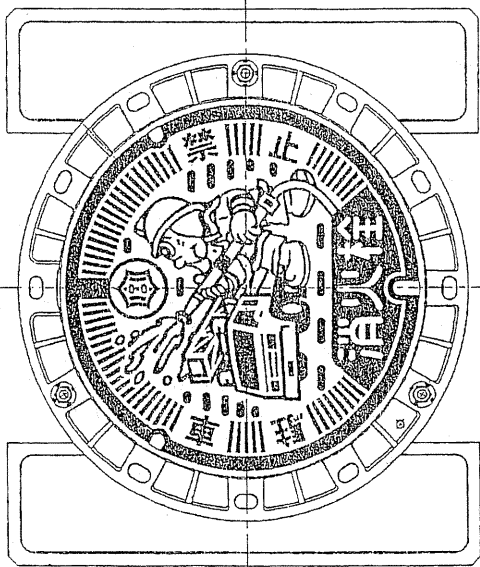
参考図 4

品名	鉄蓋	材質	鋼	個数	1	備考	年月日
品名	無収縮モルタル	材質	モルタル	個数	1	備考	年月日
品名	下柵上部	材質	鋼	個数	1	備考	年月日
品名	下柵下部	材質	鋼	個数	1	備考	年月日
品名	二分割底板	材質	鋼	個数	1	備考	年月日
宇都宮市上下水道局 型式 宇都宮市上下水道局 空気弁 (H-590)							

参考図5



品名	仕様	数量	備考
設計	図	番	年度
設計	図	番	年月日
型式			
品名	宇都宮市上下水道局		
品名	宇都宮市上下水道局 空気井用モルタル製蓋 (H=790)		



- 鉄蓋
- 無収縮モルタル
- 下拵上部
- 下拵中部
- 下拵中部
- 下拵下部
- 二分割底板

参考図6

品番	名称	材質	個数	備考
設計	図	番	尺度	年月日
型式				
品名	宇都宮市上下水道局 標準型φ600気焼-雲鉄蓋用取付設備 (H=990)			